

サポセン mail No.1 47. 2015.4.30発行

〈発行元〉 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-24-16 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konnjiki.jp/

春の開催！4回目の

『スマイルグリーンシティ』

「8時から並ばないと…という伝説？」

3月28日（土）29日（日）、今回で4回目となる「こどものまち—スマイルグリーンシティ」は初めての春の開催となりました。

1日目、今年も8時半ごろから開催を待つ子どもの列ができました。慣れた様子でトランプなどを持参し、オープンまでの時間をゆっくり過ごしていました。実は数日前、事務所に問い合わせの電話があり、「スマイルグリーンシティは8時から並ばないと仕事に就けないっていう伝説を聞いたんですが、本当ですか？」と



言われました。「いえいえ、10時のオープニングの時間が一番混むので、むしろ時間をずらしていただいた方がいいかもしれません。」とお伝えしながら、長時間お待たせしたことを反省しました。それでも今年も土気の駅まで、長い行列ができました。

「誰も見てくれないんだもん！！」

10時よりオープニングの開始です。今年のオープニングは「誰も見てくれないんだもん！」というコアスタッフの子どもたちの意見があり、今年



は並んでいる子どもたちからもよく見える植え込みのところで行いました。あすみが丘バースモールテナント会の花澤裕介会長よりご挨拶とテナント会からのご寄付をいただきました。毎回のご理解・ご協力に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。Kちゃんの開会宣言とコアスタッフ代表のテープカット、みんなのクラッカーで賑やかにスタートすることができました。

今年は小学生にもお小遣いを！

今年のスマイルグリーンシティはコアスタッフによるルールの変更がいろいろありまし

た。そのひとつが小学生にもお小遣いをあげるというものです。例年職安前に仕事に就きたい子どもの長い行列ができ、待ち時間が長かったことと・午前中はあまりお給料をもら



っていないのでお店の品物が売れないといった問題がありました。ならば、職安前に並んでいる子どもにお小遣い(300スマイル)を渡し、午前中にお金を使ってもらおうというアイデアです。「午前中はみんなお金がないから、ちっともお店の物が売れない。」「品物が売れないと、仕事をしていてもつまらないよ。」など、コアスタッフの意見はこどものまちの問題点や課題をよく理解していて、とても感心しました。職安の長蛇の列は昨年よりだいぶ改善されました。

活気があった食べ物のお店・・・

Kちゃんのクレープ屋さんからは初めから行列ができていて大人気のお店でした。女の子らしいおいしそうなクレープがどんどん売れていました。Hくんのたこ焼き屋さんはタコではなくコーンや揚げ玉・マヨネーズなど変わった味でおいしかったですね。Kくんは1年生で初めての参加だったので、話し合いの時は少し不安そうな様子も見られましたが当日はお菓子屋さんの店長としてとても充実した笑顔が見られました。



さすが！ベテラン店長さんのお店の余裕と工夫



として、ついていた青年のSが「店長がしっかりし過ぎていてやることがない！」と戻ってくるほどでした。

ゴルフのコースも小学生のコースには段差があるなど工夫があり、午後は長い行列ができていました。

ロールパンサンドとジュースのお店はMちゃん、Kちゃん、Nちゃんと子ども店長もベテラン揃い。「低学年は少なくとも足りるから・・・」と紙コップに線が引いてありました。ジュースの量を選べるのは今流行りの大人のカフェを見て思いついたのかな？Sちゃんの輪投げ屋さんにも並ぶ列と景品の列が混み合うと、地面に養生テープを張って列を整理したり、、余裕をもってお店を切り盛りしている様子が見られました。6年生のY君は準備の時から余裕綽々。ボランティア



子ども店長さんの頑張り！

Cちゃん・Mちゃん・Mちゃんはコイン落としの立派な立派な看板を作りました。畳一畳ほどの大きさで、2日かかりで作った大作です。当日は「Aさん！何か買ってあげようか？」「お給料使いきれないだもん。」お言葉に甘えて、あんこのお団子をごちそうになりました。店長さんを何回か経験してくると、責任感と楽しみ方をうまく調整しながらやっていますね。水槽の水は冷たかったそうです。

Mちゃんは前回からの参加ですが、自分のお店を出店したのは今回初めてです。アクセサリー屋さんの店長として、精一杯頑張っていました。Mちゃんの意志の強さを感じました。可愛らしいアクセサリーは人気でした。

Tくんは射的のお店でした。輪ゴムと割り箸で作ったゴム銃も的も工夫されていて、準備はとても大変だったと思います。お兄ちゃんの手も借りて、頑張りました。



ベテランお母さんのかかわり方に感動！

Sちゃんは今回初めてお姉ちゃんと違うお店を出店。ホットケーキのお店です。例年、大変忙しそうでしたが、今年のお母さんはお店の後ろにど〜んと座って子どもたちの様子を見守っています。お姉ちゃんのKちゃんのお店は「今年は子ども達に任せようと思って・・・」とお店からは離れていました。さすが、ベテランお母さん！商売ではないので、儲けを出す必要もありません。でも、お客さんの行列が出来たり、子どもがもたもたしているついで口や手を出してしまうものです。・・・じっくり子どもの様子を見守るお母さんの姿はすてきでした。



Tちゃんは今年も職安と銀行の担当に立候補してくれました。4回目ということで沢山こだわりを持っています。お金(スマイル)はあまり大きいと持ち歩くのに不便・・・とか、これまでの経験を踏まえての考えがありました。

お金やお仕事カードの絵も何度も何度も描き直して、連日遅くまで事務所での作業が続きました。「当日までにお金ができてなかったらどうしよう！」正直とても心配でしたが、お母さんはじっと我慢・我慢・我慢・・・最後までやりきったTちゃんにも、ずっと見守ったお母さんにも本当に脱帽でした。

商店街のお店の方が言ってくださった言葉が心に残りました。「秋頃、他の団体が同じようなイベントをやったけど、あんたたちのとは全然違ったよ。あんたたちはちゃんと子どもの目線でやっているから、見ていて楽しかった。また近いうちにやってよ！」このように理解して下さる方がいると、また頑張ろうという気持ちになれます。大人が企画して準備すれば、もっとスムーズに簡単に効率的にできる活動ですが、やはり子どもの「やりたい！」がむくむく出てくるのを根気強く待ちたいと思います。今年初めてかかわった店長さんはよくわからないまま終わったかもしれませんが、それでも、今年の「楽しかった！」が必ず来年、再来年につながると信じています。ありがとうございました。